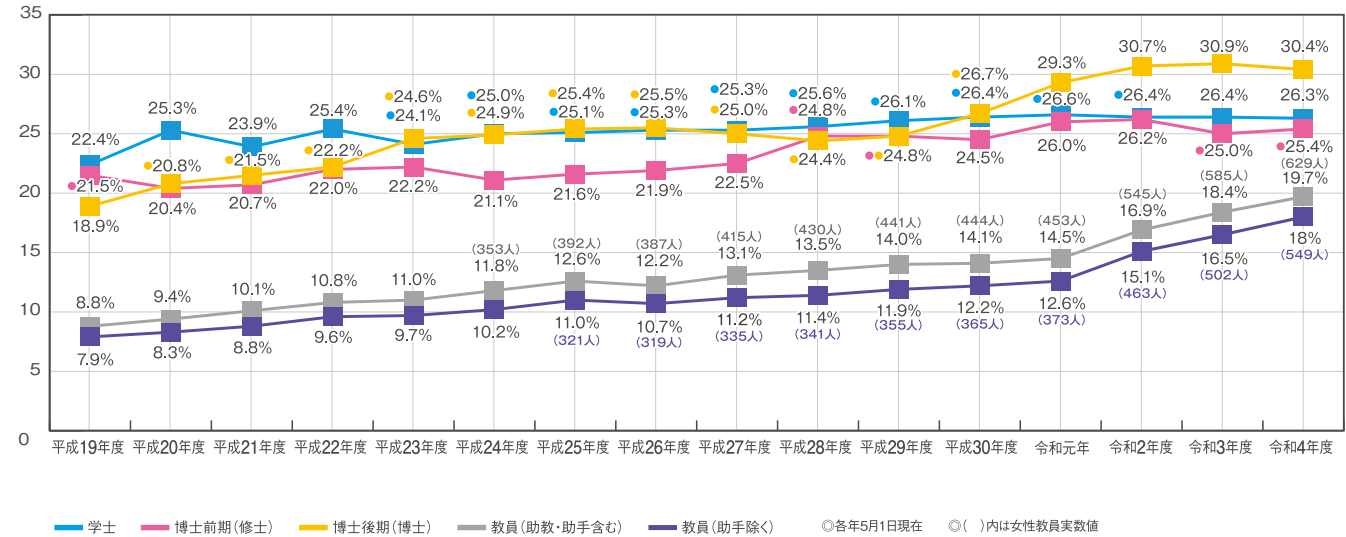


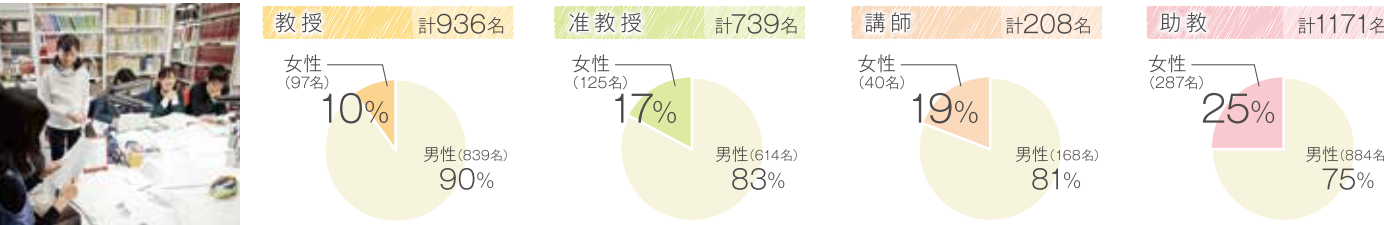
東北大学における男女共同参画の現状

在籍教員・学生の女性比率

東北大学では文部科学省の女性研究者支援事業による支援や独自経費(総長裁量経費「男女共同参画・女性研究者支援事業」)による女性研究者に焦点を当てた取組により、女性教員数は着実に増加していますが、国立大学全体の平均から見ると遅れをとっている現状にあります。



男女構成比 (令和4年5月1日現在)

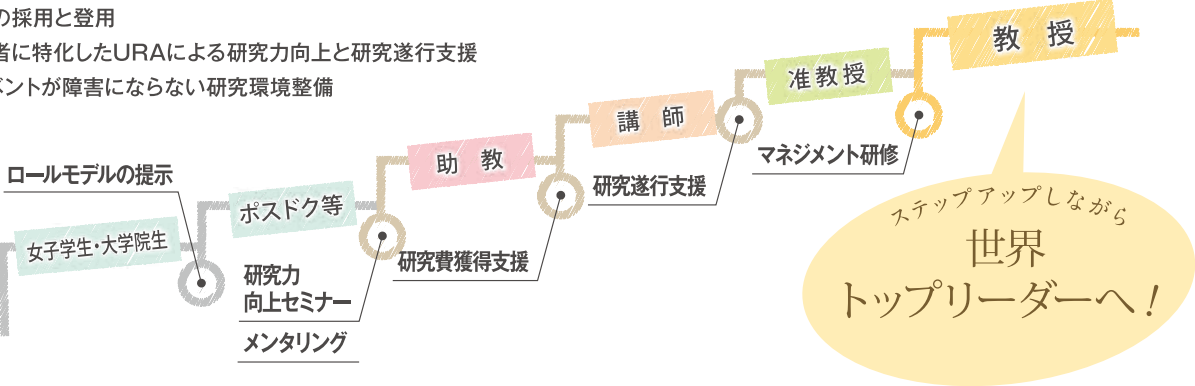


さらなる男女共同参画推進のために

事業の特色

各キャリア段階にあった多様な取り組みにより女性研究者の研究業績向上及び女性リーダー育成に寄与する仕組みを構築します。

- ・上位職への採用と登用
- ・女性研究者に特化したURAによる研究力向上と研究遂行支援
- ・ライフイベントが障害にならない研究環境整備



学内保育園／軽症病児・病後児保育施設

川内けやき保育園

月曜日～土曜日 8:00～19:00
(祝祭日及び年末年始の休日を除く)
※延長保育も行なっています。



定員／22名
対象／教職員、学生、地域住民

www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/hoiku/keyaki.html

星の子保育園

毎日 7:15～18:15
(ただ利用者が保育の提供を希望しない日について、閉園することがあります。)
※延長保育・終夜保育(月・金)・一時保育も行なっています。



定員／120名
対象／東北大学病院に属する職員等

www.hosp.tohoku.ac.jp/hoshinoko

青葉山みどり保育園

月曜日～土曜日 8:00～19:00
(祝祭日及び年末年始の休日を除く)
※延長保育・一時保育も行なっています。



定員／116名
対象／教職員、学生

www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/hoiku/midori.html

星の子ルーム(軽症病児・病後児保育)

発熱等の症状があり、集団生活が困難な
体調不良の生後6ヶ月～小学4年生が
利用できます。(かかりつけ医連絡票が必要)



月曜日及び祝祭日明けの開室日 9:00～17:45
火曜日～金曜日 7:30～17:45
(祝祭日及び年末年始の休日を除く)

対象／教職員、学生

www.hosp.tohoku.ac.jp/hoshinoko-room.html

東北大学における女子学生の歴史

東北大学は、日本初の「女子学生」が誕生した大学です。
東北大学が誕生した明治末頃の日本の大学は、旧制高校を卒業した男子学生のための学校であり、正規の学生身分で女性が大学に入学することは考えられていませんでした。

ところが、大正2年(1913)にその「常識」を破る事件が起こりました。創立間もない東北帝国大学が、独自の判断で4人の女性の受験を認めたのです。

日本初の「女子学生」



黒田チカ 牧田らく 丹下ウメ 女子入学をめぐる文部省の質問状

入学試験のさなか、文部省は「元来女子を帝国大学に入学せしむることは前例これ無きことにて頗る重大なる事件にこれあり大いに講究を要し候」云々と事情説明を求める書簡を大学に送りますが、大学は委細かまわず、黒田チカ、牧田らく、丹下ウメ3人の合格を発表、ここに日本初の「女子学生」が誕生することになったのです。

3人の女子学生はやがて卒業して女性初の「学士」となり、その後も副手や大学院生として数年間大学での研究生生活を送りました。



女子学生の歴史アーカイブ

東北大学 特設サイト
「時代を駆ける東北大学の女性たち
ー日本初・女子大生誕生の地ー」公開中

https://www.tohoku.ac.jp/tohokuu_women/



男女共同参画推進基金へのご協力をお願い

東北大学では女性研究者のスキルアップやキャリアアップ、研究と育児の両立、次世代育成などの支援や学内保育園環境の充実、伝統の継承等を行うための募金をお願いしております。

【寄附の方法・特典などに関するお問い合わせ先】
東北大学基金事務局(東北大学総務企画部基金・校友事業室基金係)
〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

TEL : 022-217-5058・5905 E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp

URL : <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>



TUMUGメーリングリストに登録しませんか？

本センターでは、支援制度やイベントの最新情報をメーリングリストでいち早くお届けしています。新規登録も随時受付中です。右QRコードよりは非登録ください。



2023年、日本で初めての女子大生が
東北大学で誕生して110周年を迎えます。
(文系女子学生入学100周年)



東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp
WEB <http://tumug.tohoku.ac.jp/>



「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(團結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。

発行日 2023年3月



東北大学
男女共同参画推進センター

Tohoku University Center
for Gender Equality Promotion



東北大学における男女共同参画とダイバーシティ推進

センターのこれまでとこれから～ジェンダーパリティとDEI実現に向けて

東北大学は1907年の設立当初より、開学の理念として「門戸開放」、「研究第一」、「実学尊重」を掲げ、旧制高等学校卒業者に加え、高等専門学校、高等師範学校卒業生等の多様な人材にも入学の扉を開きました。中でも「門戸開放」に関しては、1913年(大正2年)に、我が国の大学として初めて女子学生3名の入学を認め、女性初の「学士」を輩出した誇らしい歴史を持っています。

「門戸開放」の理念はその後引き継がれ、東北大学は2001年に全国に先駆けて男女共同参画委員会を立ち上げ、2002年に「男女共同参画のための東北大学宣言」を発出しました。全国大学で初となる取り組みとして、病後児保育室を大学病院内に開設(2001年)、自然科学系の女子大学院生による組織「東北大学サイエンス・エンジェル」(2006年)制度などを推進し、全国の注目を浴びました。現在「サイエンス・エンジェル」は、「サイエンス・アンバサダー」へと名称を変え、人文・社会科学系の女性大学院生、および性自認が女性の方も活躍できるようになるなど、ますますパワーアップしています。

女子学生入学百周年にあたる2013年には「男女共同参画推進のための行動指針」を策定し、翌年の2014年には、「男女共同参画推進センター(TUMUG)」を設置するに至っています。以来「男女共同参画推進センター(TUMUG)」は、性差による大学内の不均等を是正するため、「両立支援・環境整備」、「女性リーダー育成」、「次世代育成」、「顕彰制度」、「地域連携」、「国際化対応」、「支援推進体制」の7項目に沿った男女共同参画を推進してきました。これらの結果、2001年から2022年にかけて、博士課程学生における女性比率は13.6%から 30.4%に向上し、教員の女性比率も5.7%から

19.7%へ上昇しました。このような取り組みが評価され、2022年11月には、科学技術振興機構より、第4回女性研究者活躍推進賞(ジュニアシダ賞)が授与されました。

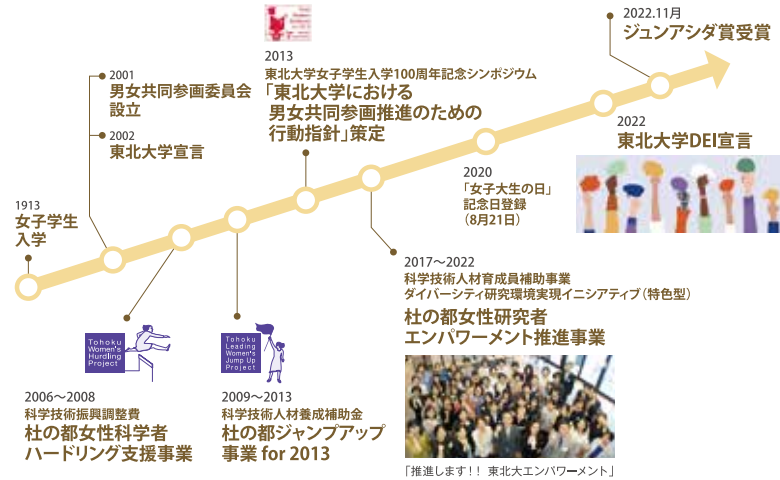
しかし、まだ道半ばです。本学の女性研究者の比率が上昇したとは言え、世界的な観点からは依然として低く、本学や日本の学術界におけるキャリア・パスには未だに性差にもとづく格差が存在しています。加えて、現実には性別(生物学的)だけでなく、さまざまな多様性に基づく格差や不平等もあります。個人の生き方の尊重が求められる中、性差についても「男女二元論」の考え方を捨て、「ジェンダー・ダイバーシティ」に基づく視点が重要視されるようになりました。これは、「誰一人取り残さない」という持続可能な開発目標(SDGs)に向けての考え方でもあり、本学も、そのような目標に応え、2021年に「国立大学法人東北大学における人権擁護及び人権侵害防止に関する基本方針」を策定し、「社会的身分、門地、信条、障がい、性別、性的指向及び性自認その他の理由による不当な差別」(同方針「3. 人権侵害の定義」)の根絶のための基本方針を打ち出しました。

そして、2022年4月、「男女共同参画」の新たな幕開けとして、「東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進宣言」を発出しました。本DEI推進宣言は、多様性、公正性、包摂性を理念として掲げ、全ての構成員がダイバーシティを尊重し、かつ、全ての構成員のダイバーシティが尊重されるよう、意識啓発や環境・制度整備を促進することを国内外に宣言したものです。今後も本センターは、DEI推進方針に基づき、ジェンダーと多様性にもとづく格差と不平等を減らすための取り組みを持続し、公正性と包摂性のある大学組織の実現に向けて努力していきます。

DEI推進方針

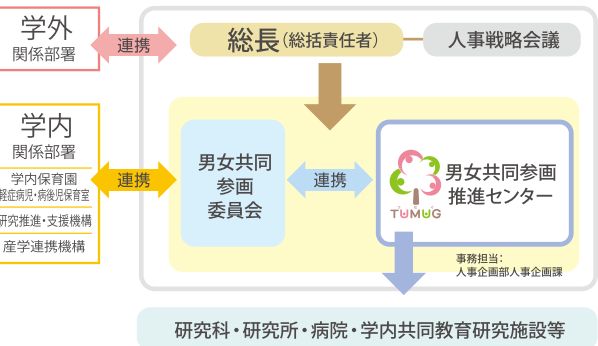
1. 東北大学は、ジェンダー・ギャップの解消のために、各分野における女性教職員や女子学生の比率を把握し、現状と女性活躍推進度の可視化に努めます。それを基に、女性教職員の積極的な採用や上位職への登用、若手の育成などを全学的に行い、ジェンダー・パリティを追求します。
2. 東北大学は、様々な多様性を実現するために、全ての学生・教職員が、尊厳を認め、個性を尊重し、相互を理解して、学修・教育・研究・業務に専念できるようにします。そのために、性別、ジェンダー、性自認・性的指向、年齢、障がい、民族、国籍、宗教、信条などに関わる無意識のバイアスを払拭する啓発活動を実施し、意識改革を行います。
3. 東北大学は、学内の調査・分析に基づき、全ての学生・教職員が各人の能力を最大限発揮できる公正性が保障された環境を提供し、多様な属性・個性を持つ構成員の誰もが歓迎、支援、評価される包摂性に富む組織を実現します。

これまでの取組と成果



推進体制

ダイバーシティ研究環境整備に向けた取組を行う本事業は、総括責任者である総長の下に組織する人事戦略会議において女性研究者増に向けた取組等の施策を検討し、男女共同参画委員会及び男女共同参画推進センター(TUMUG)が連携して行います。



男女共同参画推進のための取組

TUMUG 支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)

東北大学では、「両立支援・環境整備」「女性リーダー育成」「次世代育成」について、TUMUG 支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)として、6種のプログラムを実施しています。

研究支援要員

両立支援	女性リーダー育成
内容	研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助
対象者	出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)*1 国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員*1

ネクストステップ研究費

女性リーダー育成	
内容	新規の研究課題の遂行や、 研究成果の公開に必要な研究費の支援
対象者	女性教員(准教授、講師、助教、助手) ※1※2

ベビーシッター利用料等補助

両立支援	
内容	研究・教育と育児の両立に必要な ベビーシッター利用料等の補助
対象者	育児を行う教職員、ポスドク、 博士学生等(性別問わず)

職員も
利用できるよう
になりました

職員も
利用できるよう
になりました

東北大学サイエンス・アンバサダー

次世代育成	
内容	出張セミナー、オープンキャンパス、 科学イベント等の企画・実施
対象者	大学院女子学生

*1 本学を本務とする者に限る(他機関を主所属とするクロスアポイントメント制度適用教員等は対象外とする) *2 当該年度に計300万円以上の競争的資金(学内経費含む)を有する者は対象外とする

支援制度 利用者の声

利用した支援事業: 研究支援要員

この制度に助けていただき、安心して教育や研究をおこなうことができました。ケアにたずさわっていると、なかなか自分だけの時間がとれないこともあるのですが、この制度が大きな力となり、支えとなっています。



妙木 忍 准教授
(国際文化研究科)

利用した支援事業: ベビーシッター利用料等補助

本制度を利用したことで教育・研究に取り組むことができ、非常に助かりました。今後も継続していただきたい制度です。



久保田 健吾 准教授
(環境科学研究所)

次世代研究者育成!

東北大学サイエンス・アンバサダー (SA)

東北大学サイエンス・アンバサダー(SA)とは次世代の研究者を目指す小中高校生に「こんな女性研究者もいるんだ!」「科学って楽しい!」という思いを伝えるために結集した、東北大学の女子大学院生(性自認(心の性)が女性の方も含む)です。女性研究者のロールモデルとしてセミナーやイベントに参加し、科学の魅力・研究のおもしろさを伝えています。愛称は「SA(エスエー)」。それぞれの専門分野で日々研究をしています。

- ・小・中学生や高校生に対して科学の魅力を伝えつつ、身近なロールモデルとなることを通して次世代の研究者を育成
- ・研究に従事する使命感・責任感の醸成・研究者の卵としてのスキルアップ
- ・世代や分野を超えた女子学生・女性研究者ネットワークの構築

●主なSA活動

出張セミナー

主に高校生を対象に、研究や大学生活について、体験に基づいて話をします。



科学イベント

科学イベント等を通し、科学を身近に感じてもらえるような実験や工作を行います。



オープンキャンパス

大学進学に興味を持つ中高生の疑問・相談に答えたり、キャンパスライフについて紹介したりします。



note

研究・大学院生活・進路選択の経験や、仙台の魅力、一人暮らし事情、座談会レポートなどについて、SA自身が執筆しています。



みんなが
働きやすい環境に!

戦略的人事によるダイバーシティ推進

新たな研究フロンティア開拓の原動力となる自由な発想が生まれる多様で開かれた研究環境の構築に向けたダイバーシティ推進・拡大を目的に、女性研究者・外国人研究者の採用を促進しています。

(1)クロスアポイントメント活用促進支援制度

内容	ダイバーシティの推進による開かれた教育研究環境等の整備のため、本学の教育・研究・社会連携の活性化に資する外国人及び女性研究者等をクロスアポイントメント制度を用いて採用した場合、人件費の本学負担額の50%を採用した部局に対して支援(上限200万円/年、2024年度まで最長3年間)
対象者	本学の教育・研究・社会連携の活性化に資する外国人及び女性研究者等(部局長等の推薦を条件とする)

(2)若手女性・若手外国人特別教員制度

内容	独創性豊かな若手研究者の採用促進のため、学術研究員等を初めとする女性研究者・外国人研究者の中から将来性豊かな優秀な者を「助教」又は「特任助教(研究)」等として採用した場合、当該教員の人件費を採用した部局に対して支援(上限200万円/年(年間給与の1/2の額を上限とする)、2024年度まで最長3年間)
対象者	女性研究者・外国人研究者のうち、採用年度末に37歳以下でかつ博士の学位取得(見込み)の学術研究員等(部局長等の推薦を条件とする)

各制度の詳細については人事企画部人事給与課任用第一係にお問い合わせください。			
【お問い合わせ先】	人事企画部人事給与課任用第一係	【TEL】 022-217-4826	【E-mail】 nin1@grp.tohoku.ac.jp

女性優先公募

本学では、「職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用する」を教員公募要領に明記することとしています。

顕彰制度

澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(澤柳記念賞)
澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞

アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し多大な貢献をなした方々を選考し顕彰いたします。



「澤柳記念賞」という名称は、門戸開放の理念を打ち出した初代総長・澤柳政太郎に因みます。この理念に基づき大正2年(1913年)に3名の「女子学生」が日本で初めて誕生しました。

東北大学優秀女性研究者賞
紫千代萩(むらさきせんだいはぎ)賞

東北大学において優れた研究を展開する女性研究者に対しその活躍を讃えることで、研究意欲の一層の増進に繋げ、世界トップリーダーとなるような女性研究者の育成を目的とします。
同時に、本賞の授与により女性研究者の活躍を促進することで、本学の研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出に繋げることを目的とします。



各種セミナー・イベント

TUMUG CAFE

研究・教育や学業と育児・介護等の両立に関する情報提供や意見を気軽に共有できる場として開催しています。*



次世代セミナー

学内外で活躍する女性研究者を講師としてキャリア形成やワークライフバランスに関するセミナーを開催し、研究職の魅力を伝えています。



スキルアップセミナー

研究力向上に資するプレゼンテーション技術や外部資金獲得に関するセミナーを行っています。



女性リーダー研修

女性研究者の意欲向上と活性化を図り、上位職へのステップアップを促しています。



*新型コロナウイルス感染拡大防止をきっかけに、2020年度4月からは定期的にオンラインランチャミーティングを開催。